

第 12 回検討委員会議事録

CID/BID ひらふリゾート分担金制度 第 3 回 説明会

■日時：2012 年 12 月 14 日（金）

検討委員会 13：00-14：00 地元説明会 14：00-15：00

■出席者：別紙名簿の通り

■議事要旨：下記の通り

■議事要旨

1. CID/BID ひらふリゾート分担金制度とは

- (1) なぜ新しい制度が必要になったのか？
- (2) ビジョン 「住みたくなるリゾート/ニセコ高原ひらふ」
- (3) エリアの説明
- (4) CID/BID とは
 BID に含まれるロードヒーティングだけでなく地域向上の事業
- (5) CID コミュニティ分担金の説明
 12,000 円の分担金と、減免措置の説明
 CID コミュニティ分担金予算（案）
- (6) BID ビジネス分担金の説明
 「訪れてよし」ビジネス分担金事業
 BID ビジネス分担金事業予算（案）
- (7) 費用のかからない事業について説明
- (8) ロードヒーティングの受益率について地元負担の考え方
- (9) ひらふ坂歩道ロードヒーティングの恩恵について
 アンケートを実施

2. 質疑応答

ご意見)

- ・ BID/CID 案と言っても、代案がなくて選ぶことが出来ない。選ぶ範囲が、分担金額か、エリアしかないのは、選択肢がないのと同じである。
- ・ 事業の構想がないのに会費を決めて、お金を集めるのは本末転倒。やりたいことを先に決めて、お金を集める事が大事。
- ・ BID 予算案約 1700 万円、CID 予算案が 870 万円で事務局運営費がほとんど同じ金額なのはおかしい。その上、総予算が 870 万円の CID で 640 万円の人件費を使う事も何の仕事をするにせよ高すぎる。これも、構想がないのに分担金を集めようとしているからなのではないか。
- ・ ワイン&ダインをこの中に含めることはすごく反対。飲食店の出したい人が出すわけで、事業者で出す必要のない人もいる。
- ・ 平成 22 年にあがった BID の検討が未だに何も決まっていないといいながら、先に話が

進んでいるなど感じているのが率直な意見である。

(委員より説明) いい案を作るために、皆さんから意見をいただいたり、選択していただきたい、と考えている。その為に、具体的にこのような案を提示させてもらっている。

・(今年からの新しい事業者からの質問)

ひらふ坂の工事は、既に決まっているのか？そこから始まっているのが今回の BID なのか？その為にお金を集めるのか？

(委員より説明) 工事は既に決まっている。メインと言う事ではない。確かにロードヒーティングのお金を集めるというのものもあるが、むしろコミュニティの維持の方が意味合いが大きい。

・宿泊施設はベッド数、部屋数で分担金を決めるのが正しいのかどうか。

(委員より説明) 検討委員会でも、いろいろな試算をしている。カナダ ウィスラーの例では、1 ベッドルーム 40000 円位であるが、4000 円くらいだったらどうだろうか、と考えている。

・かなりの金額を集めることになるので、利益も、資産価値もあがるという展望を強調して、納得して、価値があるとみんなが支出するのでそのようなプレゼンテーションが必要だと思う。

・BID/CID は大事なことなので慎重に議論してほしい。先日妻が説明会に出席し、今回私も説明会に出席して、私たちももっと BID の事を真剣に取り組まなくてはいけないと感じた。

・ずっとひらふ坂に住んでいて、他の地区より高い分担金に納得は難しいが、どのくらいの予算が必要となれば払わなくていけないと思っている。

・滑走しており人、部分的なロードヒーティングで転ぶ人を見ていると、ロードヒーティングがあった方がいいと思うが、パークホテルのスタッフはいつもお客さんのために雪かきをしている。それを見ていない人が、ロードヒーティングでいい思いをしている、というのは間違えている。

・歩道のヒーティングが入れば、パークホテルも楽になると思う。

・外国人事業者は、みんな道路に雪を出すので良くないと思う。ひらふ坂に住んでいていいところもあるし、雪の問題で悪い事もあるのをみなさんに理解してほしい。

・町内会費は、通常店子から徴収する。今回の BID は、不動産所有者から集金するのが違うと思う。不動産所有者は、CID 分担金を、店子の家賃に上乗せすることになるだろう。